

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



災害に備えよう

～中央公民館夏休みスペシャル講座～

中央公民館の定期講座「レッツDIG」では、夏休みスペシャル講座として8月1日、市内の小学生も参加して災害に対する心構えなどを話し合いました。

初めに日本赤十字社秋田県支部の碓谷壽朗氏が、地震が発生した時に身を守る行動や、正確な情報の入手、判断について説明しました。また、自分の住んでいる地域の防災マップづくりを通して、避難所までの安全な経路や、災害時に近寄ってはいけない場所などを確認していくことも大切だということを学びました。



◀定期受講者と小学生が協力して防災マップ作り

このあと、具体的な危険個所や塀際などについて実際に公民館の周辺を歩いて確認し、身近な防災マップをすることにより、具体的な対策を講じることができるということを実感しました。

ドッジボールで熱く交流

～森吉地区対抗ドッジボール大会～

森吉地区校外生活指導協議会、森吉公民館共催の森吉地区対抗ドッジボール大会が、8月10日に森吉スポーツセンターで行われました。

この大会は、子どもたちの健康増進と交流を深めることを目的に開催され、昨年までは、地区ごとに男子は野球、女子はミニバスケットボールを行っていましたが、少子化が進みチーム編成が困難になってきたため、男女混合で参加できるようにドッジボールに変更されました。



◀チームで協力し、勝利を目指しました

試合が始まると、速球をキャッチしてガッツポーズを決める子どもや、コート隅の隅をひたすら逃げまわる子どもがいて、一投ごとに応援席から歓声が上がっていました。

ぼくらをキャンプに連れて行って!

～中央公民館「父親参画推進事業」講座『めざせ!アウトドア・パパ』～

7月23日と30日の2回にわたり中央公民館講座「めざせ!アウトドア・パパ」が、中央公園中之島キャンプ場と中央公民館を会場に開催されました。

日頃、野外活動をととして親子の語らいや家族の絆を深め、夏休みの思い出を増やしたいと考えているお父さんたちが、初級編、実践編、災害時対応方法などのノウハウを、びっしりと学びました。

参加者は、魚の串の差し方や焼き方、テントの選び



◀真剣に魚の串の差し方を聞くとお父さんたち

方、非常時にも役立つご飯の炊き方などを実際に体験し、改めて野外活動の奥深さと楽しさを満喫するとともに、ぜひ、家族とのキャンプを成功させたいと話していました。

学びの広場

講座「EMぼかし作り」
日時 9月13日(火)
午前10時～12時
場所 阿仁公民館
講師 佐藤正さん
定員 15人
会費 500円

図書室の休館について
阿仁公民館図書室は、蔵書整理のため、9月10日(土)から10月31日(月)まで休館いたします。

お知らせ
～阿仁公民館より～
◎問合せ・申込み
阿仁公民館 ☎82-2220

第11回北秋田市縄文まつり
◎問合せ
生涯学習課 ☎62-6618
日時 9月10日(土)
午前9時30分～午後3時
場所 伊勢堂岱遺跡現地
内容 勾玉づくり、土器・土偶づくり、火おこし、的当て、縄文料理、縄文写真、縄文クイズ
皆様お誘い合わせのうえ、多数のご来場をお待ちしています。

健康講座「簡単!体のほぐし方」
日時 9月21日(水)
午後1時30分～4時
場所 阿仁公民館
講師 庄司光子さん
定員 多数
申込期間 9月1日(木)～15日(木)

『木精』えこお』第54号作品募集
◎問合せ・申込み
森吉公民館 ☎72-3259

書く生涯学習誌『木精』の作品を募集しています。
体験談、エッセイ、伝聞、詩、小説、短歌、川柳などテーマは問いません。自由に表現して下さい。

対象 北秋田市在住、又は出身の方
原稿 手書きの場合は原稿用紙。パソコンの場合は「Word」A4。

長編の場合は400字詰原稿用紙換算で30～40枚程度。作品にはタイトル、著者名(本名でなくても可)を付記してください。

締切 11月30日(水)
※住所、氏名、連絡先電話番号を添えてお申込みください。

ふるさとの文化財 43

北秋田市指定有形文化財(絵画) ○掛軸「備荒米奨励の図」2幅

◇所在地・北秋田市大町
◇管理者・個人蔵

江戸時代、飢饉や凶作に備えた対策の一つとして「郷備米制度」の普及徹底を図るため、鷹巣村の肝煎が村民の教化・指導に使った掛軸です。当時の社会教育教材と言えます。画工(絵を描いた人、絵かき)は、大館市花岡の藤盛江岸と伝えられています。

鷹巣村の郷備は近くの村々の模範と称され、貯備米は文化年間(1804年)より始められ、「成田家系図」によれば天保の飢饉時には村内から一人の餓死者も出さなかったという。その功績によって提案者の肝煎兵左工門は、秋田藩から苗字帯刀(苗字を名乗り、刀を持つことを許可されること)の恩賞を受けたといわれています。

市文化財保護審議会では、本掛軸と「天保飢饉見聞実録」、「成田秋斎先生の碑」を一緒に、飢饉関係として指定したらどうかという意見が出されています。本掛軸に描かれている絵と、「天保飢饉見聞実録」の中の飢饉の絵が似ていることに興味を持てます。



▽平成元年10月1日指定
▽資料／「鷹巣町の文化財」、「北秋田歴史用語解説」、「秋田人名大辞典」ほか
▽紹介者／北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二